

国際・多文化インターンシップ —マレーシアでの調査を終えて—

「多文化共生の世界」

上山 エリキ 武(Ueyama Eriki Takeshi)



<研修期間>

2018年8月8日～8月29日

<派遣先国・地域、都市名>

マレーシア・ペナン島

<企業名(業種)>

Globetronics(半導体・集積回路などの製造業)

<業務内容>

人事課に配属された私の仕事は、新入社員の顔写真のデータを社内システム上で管理することや、社員情報関連の書類の管理(ファイリング、不足書類の確認・再作成など)でした。

<新たに気付いたこと>

このインターンシップから学んだことは、声をかけあい、コミュニケーションを取ることの大切さです。職場にはインド系、マレー系、中華系という3つの民族が働いており、それぞれ違う価値観や思考様式を持っています。そうした職場では、円滑な業務遂行と相互理解のために相手を尊重しつつ、自分の考えをしっかりと伝達することの大切さを学びました。

「多文化社会で働くためには」

瀧田 幹夫(Takita Mikio)

<研修期間>

2018年8月8日～8月29日

<派遣先国・地域、都市名>

マレーシア・ペナン島

<企業名(業種)>

UBCT(産業機械・ソフトウェア)

<業務内容>

社内ミーティング参加、レポート作成、プレゼンテーション資料の作成、工場見学

<新たに気付いたこと>

マレーシアのインターンシップでは多言語、多文化社会のなかで働くことという貴重な体験をさせていただきました。また社内ミーティングへの参加やプロジェクトのアシスタントを体験するなかで、語学力が必要であることは当然の事ですが、社員の皆さんが仕事に対して常に真摯に向き合い、学び続けようとする姿勢を間近で拝見させて頂くことが出来、将来の自分自身の職業意識に大きな影響を与えるような経験をさせて頂くことができました。

